

発言No.

6

受付No.

6

令和3年 2月 15日

9 時 2 / 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番

氏名 西 田 清 久

答弁を求める者 ☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 協働のまちづくりの推進について

(1) 市民の意識の醸成について

- ① 浜田市協働のまちづくり推進条例は、内容のある大変すばらしい条例だと思うが、広く市民に浸透し、協働のまちづくりが機能していくための方策を問う。

(2) 浜田那賀方式自治区制度が設置された原点の考え方について

- ① 自治区制度の期限を令和3年3月31日と定められた理由について問う。

(3) 地域自立基金条例の制定について

- ① 条例にも、先ほど開催された「協働のまちづくりオンライン市民集会」においても、市は“協働のまちづくり”の推進には財政的支援をすると明言されていたが、「浜田市まちづくり総合交付金」や「中山間地域枠」以外での財政的支援の考えについて問う。
- ② 浜田市が、これから自立に向けたまちづくりを積極的に推進して行こうとする時、地域の自立意識の醸成のためにも、地域で一定の自己決定権（責任）を担うためにも「地域自立基金条例」の制定に向けて動き出してはどうか問う。

2. コロナ禍による今後の地方創生について

- ① コロナ禍の中で、人の動きが極端に減少し、それに伴う地域経済の流れも大きく影響を受けている。国・県・市もあらゆる支援策の手を打っているが、先行きが読めない。今後、国の地方交付税交付金や補助金の考え方、また国民の負担等においても地方自治体にとって今まで通りにはいけないと思うが、市の考えを問う。